

# 予算編成過程の情報公開を

県政運営に当たって、今日、情報公開と県民参加は最も重要な課題です。

## 高齢者福祉

特別養護老人ホームの整備、あい変わらず全国最下位

65歳以上10万人に対する特別養護老人ホーム定員数は全国47都道府県中最下位が続いたままです。＊。新年度1床当たり400万円の補助金を維持してはいますが500床の整備では全く足りません。

2011年度の4分の1の整備数です。大きく後退しました。特養待機者(県内19、148人・流山市581人う

ち介護度5の人が、133人

65歳以上の人口10万人に対する特別養護老人ホーム定員数

1位 島根県 2312人  
47位 千葉県 1275人

※65歳以上の人口10万人に対する特別養護老人ホーム定員数

お泊りデイサービスの実態は？ 最長4年も

県内121カ所のデイサービス事業所でお泊りデイを

実施しているという調査。本来

は介護保険事業として在宅介護を支える事業であるデイサービス。しかし、家にもどるともなく法定外サービスとして宿泊までしているのです。

短期間の利用から、長期間の利用まであり、最長は4年にもなっているとのことです。

今後、お泊りデイサービスはさらに増えていく状況です。いそぎ県としての対応が必要

たものであり、これでは行政に対する県民の信頼度を確保することはできません。

2012・1・1(現在) 全国

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

な課題です。

# あまりに突然、県民共生センター(東葛飾センター)の廃止

今議会で千葉県民共生センターを廃止する条例改正が行われました。これは男女共同参画施策の大きな後退です。

千葉県民の男女平等推進の拠点として柏の葉さわやか県民プラザ内に平成8年千葉県女性センターが開設され、その後平成18年に県民共生センター分館として位置付けられました(本館は千葉市に)。

女性センターとしての活動を支え、共に担ってきた多くの女性団体から出されました。突然のこと

員会から東葛飾センターの廃止の検討が出され、男女共同参画課は廃止の方向にまっしぐらに進んだのです。

男女共同参画推進懇話会にも、各市の担当にも、女性団体にも、もちろん議員にももたらすことなく

は多くの女性達の声と活動力が必要ですが、千葉県はこうした県民の声を背を向けて逆の方向に走っています。



反原発を高らかに語る大江健三郎さん

## 原発のない社会こそ安全

県内のホットスポットになつてしまった地域に住んでいる住民、とりわけ放射能の影響

ありませぬ。

福島第一原発事故から一年が過ぎました。駅頭での署名活動、街宣活動が続け、集会への参加、講演会、学習会への参加が続いた一年でした。

今年の3月11日には福島県郡山市の開成山野球場での「原発いらない! 3・11福島県民大集会」に参加しました。集会の中で作家の大江健三郎

## 放射能への危機感うすい森田知事 県独自の健康影響調査を行い、疫学的データの集積を

「原発をやめるのは現実的ではない」とする森田知事の姿勢を反映して県の放射能対策のスピードはおそく、あまりにも国任せです。「国の動行を注視」という答弁ばかりです。

県民の命・健康を守ると言う森田知事の言葉は「かけ声」だけです。予算措置全くありません。

影響を受けやすい子どもに対する健康影響調査を実施することは千葉県のみならず、低線量内部被曝は長期にわたる観察、疫学的データの集積が必要です。

現在(4月)全国に54基ある原発ですが、稼働しているのは北海道電力の泊3号機1基だけです。これも5月には停止予定。しかし、原発再稼働への動きが政治判断にゆねられる方向へとどんどん進んでいます。「電気が足りなければ、産業はどんどん海外に行ってしまう、雇用はどうするんだ」と駅頭で何人かの方から投げかけられた言葉です。

原発建設のため、使われなくなった他の発電の活用、自然エネルギーの開発・推進等、電気は作れます。

原発事故後放射能への不安をかかえた今、再稼働への方向はあまりにも無責任な対応です。なぜ原発事故がおきたのかさえ、くわしい検証、報告はないのです。



会場の開成山野球場で

さんは「原発事故をなくすには原発をなくすこと。経済的責任ではなく倫理的責任を負うこと」と語られました。